

日本学術振興会外国人招へい研究者事業

採択のお知らせ

採択結果

招へい研究者の所属・氏名

Javier Perez Guerra (スペイン王国ヴィーゴ大学教授 ハヴィエル ペレス ゲラ博士)

招へい研究課題

近・現代英語形態・統語論における言語変化の多様性: 英語コーパスからの検証

招へい期間 2025年6月8日(日) - 29日(日)

受入研究者 中村不二夫(外国語学部英米語学科教授)

専攻分野 英語学・英語史

事業について

本事業は、教授級から中堅の優秀な諸外国の研究者を短期間招へいし、我が国の研究者との討議・意見交換や講演等を通じて関係分野の研究の発展に寄与することを目的とした日本学術振興会のプログラムで、ノーベル賞級の特段に優れた業績及び受賞歴をもつ研究者を招聘する「外国人招へい研究者(短期S)」に次ぐプログラムです。

招へい研究者のペレス ゲラ教授は、日本の研究者・学生との交流を心から楽しみにしておられ、短期間の滞在であるにもかかわらず、本学を拠点に3つの講演と授業協力を引き受けてくださいました。

J. Perez Guerra 教授のご紹介

a. 学位、研究分野、教育実践等の状況

サンティアゴ デ コンポステラ大学英語・英文学学士・修士を修了後(“licenciatura”と呼ばれる、5か年で学士号と修士号を取得する制度)、同大学院にて英語・英文学博士(English Philology & Linguistics)を取得。1992年ヴィーゴ大学助手を皮切りに、一筋に勤続33年。2017年以来、ヴィーゴ大学英語学正教授。



本人から戴いた、53ページに及ぶ膨大な業績一覧を簡潔にまとめると、次のようになります。若手時代は現代英語が中心でしたが、2000年を迎える直前から、中世を経由し近代英語(1500年-1900年)、かつコーパスを使った研究へと伸展しました。現在の主たる研究領域は、語順、文中内の情報の梱包、文法変化の史的研究です。

博士の学位を取得後ヴィーゴ大学一筋に教鞭をとっている同氏は、教育熱心で、9人の博士を輩出させ、その内7人が国際的に活躍しており、博士号取得後も惜しみなく指導に当たっています。修士論文指導は66人です。

b. 学会運営上の貢献

2000年以降だけでも、12の国際会議、シンポジウム、ワークショップの組織委員長を務め、学界の発展に寄与してきました。たとえば、2019年 言語と脳に関する国際ワークショップ、2021年 第6回国際規範文法学会、2023年 第32回ヨーロッパ機能言語学学会等。秘匿性のために詳細を述べることはできませんが、一流学会誌の審査委員の大役も担っています。その傍ら、Cambridge, Oxford, MIT, London, Manchester, Edinburgh, Helsinki 大学等の客員も務めました。

c. 研究業績

著書（単著4、共(編)著12）、章の執筆（単独34、共同26）、論文（単著17、共著13）雑誌特集記事等9。その多くが言語学分野の権威ある出版社であるオックスフォード大学出版局、ケンブリッジ大学出版局、De Gruyter Mouton（旧名Mouton de Gruyter）、John Benjamins, Peter Lang, Routledge等の出版社から公刊されています。口頭発表は、計136点の研究成果を世に問うています。ペレス ゲラ氏は大会参加者を一堂に集めた全体会議の場で10回講演しています。一流の研究者のみに与えられる名誉です。分科会に分かれての口頭発表も、国内外併せて単独で60回、共同で51回を数えます。50歳代半ばにしてこの業績、傑出しています。

本学における講演と授業協力（外大生の皆さんへ）

ペレス ゲラ教授が本学で過ごす3週間のうち、最初の10日間は、教育本位の内容です。専門の英語学(特にコーパス利用の英語史)の近畿地区特別講演と、私が担当する授業への協力をお願いしてあります。ペレス ゲラ教授も、私たちと同様、第二言語として英語に接する立場にかわりありません。難解な英語にならないようお願いしてありますので、皆さんが英語による授業にどの程度ついていけるかを知る絶好の機会となります。日本語をまったく喋ることのできない、世界の一流学者たる方から学べる機会は滅多にあることはありません。ご本人も意欲に燃えていらっしゃいます。どうかこの機会に多数ご参加ください。また、英語学だけでなく、スペイン（特にガリシア自治州やアストゥリアス自治州、上の地図の左上の地域）への留学に興味がある方々とも、個人または集団で研究・文化交流していただく機会を設けたいと思います。同じ質問に個別に答えることは時間の浪費につながりま



スペイン 地図 フリー素材 より

すので、知りたいことが決まっている人は事前に中村宛ご連絡ください。資料なくして答えられない質問はなおさら、事前にお知らせください。

近畿地区講演と授業協力は、中村が担当する「英語学概論」「応用言語学」「言語分析」の時間帯を使います。日時、場所等の細部は、4月初めに外大ホームページをチェックしてください。私の授業履修者は参加登録の必要はありません。講演は学外の聴講希望者にも門を開きますので、今このサイトをご覧の外部の方は、また私の授業の履修名簿にない外大生も、件名を「ペレス ゲラ教授の講演参加」とし、本文に氏名・所属をご記入の上、中村不二夫研究室（下記メール）宛にご送信ください。

連絡先
外国語学部教授 中村不二夫
fnakamu@kansaidai.ac.jp